

沖縄県小売業SAFE協議会

～私たちは労働災害の防止対策に取り組んでいます～



沖縄県内の小売業における休業4日以上の労働災害（以下「労働災害」という。）による死傷者数は直近10年で約2倍に増加しています。

「転倒」や腰痛などの「動作の反動・無理な動作」による災害が多く発生しており、労働災害全体の約6割を占めています。

沖縄県小売業SAFE協議会では、協議会メンバーの労働災害防止の取組事例を共有し、労働災害の防止に取り組んでいます。

このリーフレットでは、協議会メンバーの労働災害防止に関する取組を紹介しています。参考にいただき、ぜひ皆様の職場でも取り組みをお願いいたします。



沖縄県内小売業における労働災害（休業4日以上）発生状況の推移
（新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く）

（出典：労働者死傷病報告）

Safer Action For Employees

～従業員のための安全アクション～



沖縄県小売業SAFE協議会

・この協議会は沖縄県内のリーディングカンパニー、業界団体、行政機関を構成員として労働災害防止に関する情報の共有、好事例の周知、啓発活動を通じて、労働災害を防ぎ安全で安心して働ける職場の実現を目指しています。

構成員メンバー

企業： イオン琉球株式会社 / 金秀商事株式会社
株式会社サンエー / 株式会社リウボウインダストリー
株式会社リウボウストア / 生活協同組合コープおきなわ

業界団体： 沖縄県商工会連合会

専門家： 一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会沖縄支部

行政機関： 沖縄県商工労働部中小企業支援課

令和7年2月現在 順不同

問い合わせ先【事務局】



沖縄労働局 労働基準部 健康安全課 電話 098-868-4402

【例題6】

《発生状況》

鮮魚作業場にて寿司場に行こうと慌てて小走りで移動した際、床タイルが流水解凍中のサーモンの油で滑りやすくなっていた為、足を滑らせて転倒。咄嗟に受け身した時に左手を床に突いて左手首を骨折した。長靴を着用していたが、靴底が摩耗していた。



● 不安全な状態（物・環境・状態）は？

● 不安全な行動（人）は？

● ケガをしない為の防止対策

【例題7】

《発生状況》

青果加工場にて、クーラーの冷気を確認しようと1.8mサイズの脚立に上った際、天板から2段目辺りで脚立がぐらついた為、倒れると思いそのまま床に飛び降りた。高さがあった為、膝に負荷がかかり靱帯を損傷した。脚立の脚にあるキャップが無くなっており、以前からガタついていたがそのまま使用。被災前日の安全パトロールで脚立の点検項目があったが、安全衛生委員は確認しないまま「問題なし」と回答した。



● 不安全な状態（物・環境・状態）は？

● 不安全な行動（人）は？

● ケガをしない為の防止対策

- ・ 社内登用社員の雇入れ研修時に、実際の労災事例から問題点と改善対策を自分で考え、グループで共有するディスカッションを実施しています。

タウンフラザかねひで ～ 腰痛予防・転倒対策 ～

作業前にストレッチで体をほぐし腰痛防止等に取り組みましょう。

2022年5月
安全品質管理部

ストレッチ（立位）



動的ストレッチ（5～10回程度繰り返しましょう）



歩き方を見直そう！

すり足で歩を進めると歩幅が狭くなり、転倒しやすくなります。普段よりも一歩前に足を出すことを意識して歩幅を広げ、つま先で地面を蹴り、かかとから着地して歩くようにしましょう。



転ばない体をつくるために…日ごろから筋力アップに努めましょう。

例：スクワット

足を肩幅ぐらいに開きます。手を腰に当て、膝の角度が45～60度程度になるように曲げます。これを10回×2セットを目安に行いましょう。



- ・ 「ストレッチ・歩き方」の掲示物を休憩室や通路等に貼り付け、転倒しない体づくりを励行しています。